

令和6年度江別市地域農業再生協議会水田収益力強化ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

1) 地域の作物作付状況

江別市は、石狩平野の中央に位置した平坦な地勢で、札幌や新千歳空港などの多様な販売拠点や本州との迅速な輸送が可能となる空港にも近い。また、市内には石狩川や千歳川など河川に恵まれ、世界有数の平地原生林である野幌森林公園があるなど自然環境にも恵まれている。

当市の農業の主要な作物である、水稲、小麦、大豆、てん菜などの基幹作物に加え、野菜や花卉・果樹、さらには酪農・畜産等多岐にわたり、また、経営の安定化に寄与する高収益作物への取り組みや、加工等の6次産業化など多角的に経営を営んでいる生産者も多い。

今後も、当市の農業経営の発展のために、多様な作物への需要に柔軟に対応しながら生産する必要がある。さらに、水田を含めたブロックローテーションにより輪作体系の確立を重視しており、その一作として子実用とうもろこしの推奨も行っている。

2) 地域が抱える問題

地域における生産者の高齢化や後継者不足に伴う農家戸数の減少により、生産者1人あたりの面積は増加傾向にある。今後、農地中間管理事業等を活用しながら、担い手に集約する他に、新規就農者の参入を引き続き促したい。

2 高収益作物の導入や転換作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

現在の状況としては、地域において収益力の高い水田農業経営を行うためには、土質や輪作体系に配慮した作付体系を確立・維持しながら、新型コロナウイルス感染症禍での新しい需要に応じた生産に配慮するとともに、価値向上のために、需要や地域に適した高収益作物の推奨や低コスト及び省力化の取組を推進する必要がある。さらに、高値で販売できる有利販売や地産地消、地場産業への供給に対応しながら、環境に配慮した農業やSDGsの趣旨を踏まえた長期間での収益性の高い持続可能な農業経営の実現も目指す。

これらのことを具現化する方策としては、水田農業高収益化推進プロジェクトチームを設置し、その会議内容の中から地域での課題を抽出し、関係機関の協力を得ながら、本ビジョンの推進計画のPDCAサイクルの中で調査や分析を行い、他の補助事業を活用し、問題解決や計画の実行を遂行するものである。

その一方で、高収益作物の中で加工業務用や輸出の取組を行うなど新たな市場の開拓の動きが広がりつつあり、それに伴いGAPを取得する生産者も増えつつある。

今後、生産者の中で新市場開拓の取組の意向があれば、畑作物産地形成促進事業等も活用しながら推進していく。

また、水稲を含め、飼料用米・米粉用米・備蓄用米・WCS用稲などの新規需要米を作付体系に取り入れたブロックローテーションの確立や団地化に努め、併せて低コストの取組を実施することにより、農業経営費を縮減し、収益力の強化にもつなげたい。

3 畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

現在の当市の作付動向については、主食用米を中心とした水稻生産、麦・大豆・てん菜等の畑作生産、露地・施設の野菜生産(果樹、花きを含める。)、デントコーンや子実用とうもろこし、牧草を中心とした有畜農家の粗飼料作物生産の4つに大分され、概ね4つの作付形態の複合体を含めて市内の営農形態をほぼ網羅できるが、あくまでも生産者の経営指針や需要に応じた生産という大前提がある。畑地化については、生産者の希望や経営指針、各土地改良区を交えた地域での話し合い等繰返し議論を重ねた上で、慎重に判断していきたい。

今後の輪作体系(ブロックローテーション)については、麦、大豆、てん菜、地力増進作物という畑作体系に水稻を組み込みつつ、非主食用米、現在でも一部の生産者が導入を行っている子実用とうもろこしを含め、生産者の要望や実需の動向に注視しながら、推進していきたい。

また、長期間、畑作物のみを生産し続けている水田については、水稻を含めた輪作体系を推奨するが、適宜、現地確認を行い、今後の営農形態などの状況および将来を把握し、また、必要に応じて生産者と話し合いも行い、畑地化支援について助言をする。

4 作物ごとの取組方針等

(1) 主食用米

主食用米は、生産数量目標に沿った作付面積を確保していたが、平成30年度からは、北海道の生産の目安に配慮しながら、需要に応じた主食用米の生産数量の確保を目指しており、令和6年度についても、今後の需給バランスや市場価格等を加味しながら、他作物等への転換および非主食用米の拡大については、細心の注意を払い、消費者や実需者の多様なニーズに応えていく。

(2) 備蓄用米

非主食用米の一用途として、買入入札における優先枠を最大限活用し、ホクレン農業協同組合連合会と協議しながら、備蓄用米による安定的な所得確保に向けた取組を推進する。

(3) 非主食用米

ア 飼料用米

水稻作付面積の確保のため、昨年、取組者は増加したが、新規の需要があれば、柔軟に対応していきたい。さらに、多収性品種の導入についても推進していく。また、需給のバランスや市場価格等により、年度によっては導入の可能性もあるが、主食用米の動向と並行して慎重に判断し、加工用米との交付単価を比較しながら、需要に応じて、国からの数量払いや北海道枠の産地交付金等を最大限に活用し、消費者や実需者の多様なニーズに応えていく。

イ 米粉用米

米粉用米の作付面積は、ほぼ横ばいとなっているが、新規の要望等があれば、柔軟に対応していきたい。また、需給のバランスや市場価格等により、年度によっては、導入の可能性もあるが、主食用米の動向と並行して慎重に判断し、国からの数量払いや北海道枠の産地交付金等を最大限に活用し、消費者や実需者の多様なニーズに応えていく。

ウ WCS用稲

昨年度より、国内の主食用米の需給バランスの影響により、WCS用稲の作付を導入した。今後は、交付対象水田の厳格化に伴い作付面積が増加する見込みである。出荷先については、酪農・肉牛生産者や商社ということになるが、市内には、酪農・肉牛生産者も多いことから、有畜農家が供給先の一つとして十分な候補になるとと思われる。

エ 加工用米

昨年度も、冷凍食品等の米の加工用事業者から、ホクレン農業協同組合連合会を通しての需要があり、生産者の希望に応じて、取組を実施する。今後も、需要に応じて国からの、面積払や北海道枠の産地交付金等を最大限に活用し、実需者の多様なニーズに応えていく。

オ 新市場開拓用米

地域の商社を通じての需要があり、生産者の希望に応じて取組を実施する。今後も、需要に応じて国からの産地交付金等を最大限に活用し、実需者の多様なニーズに応えていく。

(4) 麦、大豆、てん菜、小豆、飼料作物

麦、大豆について、国の増産意向に基づき、今後、作付面積が増加する見込みである。ただ、過去の麦の病気の問題から連作を回避し、畑作物で適正な輪作体系の構築に向けた取り組みの推進を行っていく必要がある。

また、麦、大豆、てん菜及び小豆については、これまでどおり、施肥設計書及び湿害対策（心土破碎、たい肥施用、明暗渠施工等）に基づき、優良品種への転換、湿害対策の実施や機械等の導入による省力化を併せて進めていく。

飼料作物については、ほぼ横ばいとなりつつあるが、麦、大豆、てん菜及び小豆と同様、施肥設計書に基づき、品質及び生産性の向上を図ることはもちろん、永年性牧草については高位草地への転換を通じて、良質な粗飼料生産を図る。また、子実用とうもろこしについても輪作可能な作物として、輪作体系への取り入れ、引き続き支援する。

(5) 子実用とうもろこし

子実用とうもろこしについては、適正な輪作体系確保のために、積極的に導入されている。輪作体系へ組みこむことにより、圃場の排水性改善、連作障害の回避などが期待されることから、品質の向上に寄与するよう推進していくとともに、適正な施肥管理設計書及び湿害対策（心土破碎、たい肥施用、明暗渠施工等）の実施による対策を推進し、生産性を向上し、作物の振興を図る。

(6) そば、なたね

そば作付は例年、横ばいである。契約栽培を基本に、適正な施肥設計書と湿害対策（心土破碎、たい肥施用、明暗渠施工等）の実施による排水対策を推進し、生産性向上を図りつつ同程度の面積の維持による作物振興を図る。

(7) 地力増進作物

地力増進作物の作付を行うことで、土壌病害の軽減や有害線虫が抑制され、作物の連作を回避し、病害の減少や安定供給・品質の向上が図られることから、通常の麦、大豆、野菜作付後の休耕だけではなく、水稻前後作の輪作体系への組み込みを行う地力増進作物に対しても支援する。対象とする地力増進作物は次のとおりとする。

えん麦、とうもろこし、ソルガム、イタリアンライグラス、ギニアグラス、スーダングラス、アカクローバー、クリムソンクローバー、ベッチ類、ペルコ、カラシナ類、レバナ、

はぜりそう、マリーゴールド、ひまわり、キガラシ、ステビア、なたね、ヘイオーツ、ライ麦、コスモス

(8) 高収益作物

野菜等の高収益作物については、市場出荷・直売所での販売を問わず、様々な種類の野菜等を生産している地域特性から、各作物の品質の向上に資するために適正な施肥設計書及び湿害対策に基づき、生産性を向上するよう推進していくとともに、地域の輪作体系の一作として組み込まれる地域戦略作物として位置づけ、さらに近年市場等でのニーズが高い加工用・業務用野菜や輸出の取り組みに対しても支援する。

5 作物ごとの作付予定面積等

～

9 産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり

5 作物ごとの作付予定面積等

(単位:ha)

作物等	前年度作付面積等		当年度の作付予定面積等		令和8年度の作付目標面積等	
		うち 二毛作		うち 二毛作		うち 二毛作
主食用米	794.72	-	811.60	-	805.80	-
備蓄用米	28.17	-	28.63	-	0.00	-
飼料用米	25.07	-	5.66	-	15.93	-
米粉用米	22.41	-	32.86	-	16.07	-
新市場開拓用米	1.98	-	1.98	-	1.98	-
WCS用稲	31.34	-	35.51	-	31.38	-
加工用米	6.73	-	5.72	-	5.49	-
麦	1252.65	-	1364.86	-	1334.86	-
大豆	524.02	-	495.13	-	483.13	-
飼料作物	708.74	-	633.99	-	732.42	-
▪ 子実用とうもろこし	23.44	-	25.86	-	21.56	-
そば	8.67	-	7.86	-	2.61	-
なたね	0.00	-	0.00	-	0.00	-
地力増進作物	15.25	-	14.81	-	30.10	-
高収益作物	603.9	-	647.23	-	672.58	-
▪ 野菜	599.37	-	641.83	-	666.74	-
▪ 花き・花木	1.28	-	0.69	-	1.08	-
▪ 果樹	3.25	-	4.71	-	4.76	-
▪ その他の高収益作物	0.00	-	0.00	-	0.00	-
その他	265.32	-	241.30	-	319.20	-
▪ てん菜	102.59	-	107.26	-	170.78	-
▪ 小豆	161.45	-	133.28	-	146.17	-
▪ その他菜豆	0.53	-	0.12	-	0.87	-
▪ 薬草	0.75	-	0.64	-	1.38	-
畑地化	104.82	-	0.00	-	30.00	-

6 課題解決に向けた取組及び目標

【単位：a】

整理番号	対象作物	使途名	目標	前年度（実績）	
				前年度（実績）	目標値
1	飼料用米・米粉用米・WCS用稲・加工用米、小麦・大豆・飼料作物・甜菜・業務加工用野菜・野菜・薬草・小豆・菜豆・花卉・花木・果樹・そば（全て種子を含む）（別紙参照）	土壌改良加算	土壌分析CEC(me値) CEC目標値達成戸数 対象作物の作付面積(a)	(5年度) 28,20 (5年度) 46%	(8年度) 27,50 (8年度) 70%
2	甜菜・薬草（加工・業務用） 全て種子含む（別紙参照）	地域戦略作物助成 （甜菜・薬草）	土壌分析CEC(me値) 対象作物の作付面積(a)	(5年度) 28,20 (5年度) 10,334	(8年度) 27,50 (8年度) 12,000
3	野菜（加工・業務用含む） 全て種子含む（別紙参照）	地域戦略作物助成 （野菜）	対象作物の作付面積(a)	(5年度) 53,143	(8年度) 61,500
4	小豆・菜豆・花卉・花木・果樹 全て種子含む（別紙参照）	地域振興作物助成	土壌分析CEC(me値) 対象作物の作付面積(a)	(5年度) 28,20 (5年度) 16,020	(8年度) 27,50 (8年度) 18,500
5	そば 種子含む（別紙参照）	そば作付助成	土壌分析CEC(me値) 対象作物の作付面積(a)	(5年度) 28,20 (5年度) 780	(8年度) 27,50 (8年度) 800
6	地力増進作物（1年緑肥） （別紙参照）	土づくり加算	対象作物の作付面積(a)	(5年度) 1,523	(8年度) 1,800
7	飼料用米・米粉用米・WCS用稲・加工用米・小麦・大豆・飼料作物（牧草を除く）・甜菜・業務加工用野菜・野菜・薬草・小豆・菜豆（全て種子含む）（別紙参照）	輪作加算（3年以上）	土壌分析CEC(me値) 3年輪作取組面積(a) 対象作物の作付面積(a)	(5年度) 28,20 (5年度) 113,485 (5年度) 289,902	(8年度) 27,50 (8年度) 131,500 (8年度) 335,600
8	野菜・薬草 全て種子含む（別紙参照）	加工・業務用加算	土壌分析CEC(me値) 対象作物の作付面積(a)	(5年度) 28,20 (5年度) 6,942	(8年度) 27,50 (8年度) 8,100
9	牧草・デントコーン （別紙で定める飼料作物）	耕畜連携助成 （資源循環）	対象作物の作付面積(a) 資源循環の取組面積(a)	(5年度) 71,438 (5年度) 16,491	(8年度) 82,700 (8年度) 19,100
10	飼料用米・米粉用米、WCS用稲・加工用米・小麦・大豆・飼料作物（牧草を除く）・甜菜・業務加工用野菜・野菜・薬草・小豆・菜豆・花卉・花木・果樹（全て種子含む）（別紙参照）	転換作物拡大加算	転換面積(a)	(5年度) 4,582	(8年度) 3,500
11	飼料作物（永年性牧草に限る）	永年性牧草生産性向上助成	土壌分析CEC(me値) 作付面積(a) は種を行わず収穫を行う面積(a)	(5年度) 28,20 (5年度) 64,152 (5年度) 37,257	(8年度) 27,50 (8年度) 74,300 (8年度) 43,200
12	新市場開拓用米（輸出用米）	新市場開拓用米作付助成	作付面積(a)	(5年度) 198	(7年度) 250

※ 必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。

※ 目標期間は3年以内としてください。

7 産地交付金の活用方法の概要

都道府県名:北海道

協議会名:江別市地域農業再生協議会

新様式(公表用)

整理番号	用途 ※1	作期等 ※2	単価 (円/10a)	対象作物 ※3	取組要件等 ※4
1	土壌改良加算	1	3,300円/10a (上限5,000円/10a)	飼料用米・米粉用米・WCS用稲・加工用米・小麦・大豆・飼料作物・甜菜・加工業務用野菜・野菜・薬草・小豆・菜豆・花卉・花木・果樹・そば(全て種子を含む)(別紙参照)	①土壌診断(必須)に基づく施肥設計 ②下記の取組実施(1つ以上) ・湿害対策 ・土壌改良資材散布 ・カルシウム資材散布 ・堆肥散布(1t以上/10a) ・バイオガスプラント精製後の消化液散布 ・前緑肥作物の取入れ銕きこみ
2	地域戦略作物助成(甜菜・薬草)	1	35,000円/10a (単価固定)	甜菜・薬草(加工・業務用含む)(全て種子含む)(別紙参照)	①土壌改良加算の取組前提 ②地域の輪作体系に組み込まれる作物で、出荷・販売を目的として作物生産
3	地域戦略作物助成(野菜)	1	35,000円/10a (単価固定)	野菜(加工・業務用含む)(全て種子含む)(別紙参照)	①助成対象作物を作付した生産者
4	地域振興作物助成	1	30,000円/10a (単価固定)	小豆・菜豆・花卉・花木・果樹(全て種子含む)(別紙参照)	①土壌改良加算の取組前提 ②出荷・販売を目的として作物生産
5	そば作付助成	1	20,000円/10a (単価固定)	そば(種子含む)(別紙参照)	①土壌改良加算の取組前提 ②播種前契約による出荷・販売
6	土づくり加算	1	20,000円/10a (単価固定)	地力増進作物(1年緑肥)(別紙参照)	1年休閑し緑肥作物を圃場へすき込む。
7	輪作加算(3年以上)	1	4,300円/10a以内	飼料用米・米粉用米・WCS用稲・加工用米・小麦・大豆・飼料作物(牧草を除く)・甜菜・加工業務用野菜・野菜・薬草・小豆・菜豆(全て種子を含む)(別紙参照)	①土壌改良加算の取組前提 ②3年輪作の実施
8	加工・業務用加算	1	5,300円/10a以内	野菜・薬草(全て種子含む)(別紙参照)	①土壌改良加算の取組前提 ②播種・定植段階から、業務用・加工向けに作物生産 ③畑作物産地形成促進事業に採択された農地は対象外とする。
9	耕畜連携助成(資源循環)	3	12,100円/10a (単価固定)	牧草・デントコーン(別紙で定める飼料作物)	利用供給協定に基づき、耕畜農家が飼料作物を生産し、 ①わら利用②堆肥散布の取組が行われる場合に助成
10	転換作物拡大加算	1	8,700円/10a以内	加工用米・新規需要米・WCS用稲・加工用米・小麦・大豆・飼料作物・甜菜・薬草・野菜(加工・業務用含む)・小豆・菜豆・花卉・花木・果樹・そば(全て種子含む)(別紙参照)	①当該年度において、前年度主食用米を作付した圃場に 対象作物を作付している場合、その転換した面積に対して助成
11	永年性牧草生産性向上助成	1	3,500円/10a (単価固定)	飼料作物(永年性牧草に限る) (戦略作物助成において、1.0万円/10aの対象となる(播種を行わず収穫を行う)ほ場)	①土壌改良加算の取組前提 ②下記の取組を1つ以上 ・2番草の収穫又は放牧地における掃除刈 ・化学肥料の削減(施肥標準から3割以上の減) ・農業使用量の削減(R4で農業を使用している場合、R4から3割以上の減)
12	新市場開拓用米作付助成	1	20,000円/10a (単価固定)	新市場開拓用米(輸出用米)	①下記の取組を2つ以上 ・土壌分析結果に基づく施肥 ・明暗渠排水の整備 ・心土破砕・穿孔排水による透・排水性の改善(いずれか一つ実施) ・ケイ酸資材の施用 ・温湯種子消毒の実施 ・融雪剤散布 ・収穫後の溝切りによるほ場の乾燥化

※1 二毛作及び耕畜連携を対象とする用途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は用途の名称に「〇〇(二毛作)」、耕畜連携の場合は用途の名称に「〇〇(耕畜連携)」と記入してください。

ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。

なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、用途の名称に「〇〇(耕畜連携・二毛作)」と記入してください。

※2 「作期等」は、基幹作を対象とする用途は「1」、二毛作を対象とする用途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする用途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする用途は「4」と記入してください。

※3 産地交付金の活用方法の明細(個票)の対象作物を記載して下さい。対象作物が複数ある場合には別紙を付すことも可能です。

※4 産地交付金の活用方法の明細(個票)の具体的な要件のうち取組要件等を記載してください。取組要件が複数ある場合には、代表的な取組のみの記載でも構いません。

別紙

江別市地域農業再生協議会

産地交付金対象とする作物の設定(全ての作物で種子含む)

区 分		
1	小麦 (種子用小麦含む)	
2	てん菜 (食用ビート含む)	
3	豆類	
4		大豆
5		小豆
6		菜豆 (いんげん)
7		えんどう
8	野菜	
9		あさつき
10		明日葉
11		味美菜
12		アスパラガス (グリーン)
13		アスパラガス (ホワイト)
14		アスパラガス (紫)
15		アビオス
16		いちご
17		いんげん
18		うど
19		うり
20		エゴマ
21		えだまめ
22		大麦 (若葉収穫用に限る)
23		オクラ
24		カイラン
25		かいわれだいこん
26		かぶ
27		かぼちゃ
28		カリフラワー
29		かんしょ
30		菊菜
31		きのこ
32		キャベツ
33		きゅうり
34		ぎょうじゃにんにく
35		クレソン
36		くわい
37		ケール
38		ゴーヤ
39		ごごみ
40		ごぼう
41		こまつな
42		こもちかんらん
43		こんにやく
44		ささげ
45		さつまいも
46		さといも
47		サニーレタス
48		さやいんげん
49		さやえんどう
50		サラダ菜
51		サンチュ
52		ししとう
53	しそ	
54	しゅんぎく	
55	じゅんさい	
56	しょうが	
57	食用キク	
58	食用ハーブ	
59	食用ゆり(ゆりね)	
60	シロウリ	
61	しろ菜	
62	スイートコーン	
63	すいか	
64	ズッキーニ	
65	スナップエンドウ	
66	せり	
67	セルリー	
68	ぜんまい	
69	そらまめ	
70	ソルトリーフ	
71	タアサイ	
72	ばれいしょ	
73	だいこん	
74	たいな	
75	たまねぎ	
76	たらの芽	
77	チコリ	
78	ちんげんさい	
79	テンダーボール (花ニラ)	
80	とうがらし	
81	冬瓜	
82	トマト	
83	ながいも	
	なす	

区 分		
83	野菜	
84	なた豆	
85	なんばん	
86	にがうり	
87	にら	
88	にんじん	
89	にんにく	
90	にんにくの芽	
91	ねぎ	
92	野沢菜	
93	はくさい	
94	パクチー	
95	パセリ	
96	花みょうが	
97	パブリカ	
98	はまぼうふう	
99	ピーマン	
100	広島菜	
101	フロッコリー	
102	ベビーリーフ	
103	ほうれんそう	
104	まくわうり(カンロ)	
105	実えんどう(グリーンピース)	
106	みずな	
107	水わさび	
108	みつば	
109	実取りカラシ	
110	ミニかぼちゃ	
111	ミニトマト	
112	みぶ菜	
113	みょうが	
114	メロン	
115	モロヘイヤ	
116	ヤーコン	
117	山ごぼう	
118	大和芋	
119	やまのいも	
120	山わさび	
121	ゆりね	
122	落花生	
123	らっきょう	
124	ラディッシュ	
125	リーキ(ポワロ)	
126	ルッコラ	
127	ルバーブ	
128	レタス	
129	れんこん	
130	わさび	
131	わさびだいこん	
132	菜花	
133	ピーツ	
134	コリアンダー	
	ワキシコーン(もちトウモロコシ)	
135	花き	
136		アイリス
137		アゲラタム
138		アザミ
139		アジサイ (切枝)
140		アスクレピアス
141		アスター
142		アスチルベ
143		アストランチャ
144		アスパラガス (観賞用)
145		アトランティアマヨール
146		アナベル (切枝)
147		アネモネ
148		アマランサス
149		アリウム
150		アリストロメリア
151		アルケミラ
152		アルファ
153		アロニア (切枝)
154		イキシア
155	イタリアンルスカス	
156	インパチェンス	
157	ウイキョウ	
	ウインターグラジオラス	

別紙

江別市地域農業再生協議会

産地交付金対象とする作物の設定(全ての作物で種子含む)

区	分
158	花き
159	うばゆり(ユリ科)
160	ウメモドキ(切枝)
161	エキノブシス
162	エボタ
163	エリンジウム
164	エレムルス
165	オオデマリ(切枝)
166	オーニソガラム
167	オダマキ
168	オレガノ
169	カーネーション
170	ガーベラ
171	カキツバタ
172	カスミソウ
173	かぼちゃ(観賞用)
174	ガマ(ガマ科)
175	カラー
176	カンゾウ
177	カンパニュラ
178	きいちご(観賞用)(切枝)
179	ギガンジウム
180	キク
181	菊アスター(キク科)
182	切葉類
183	キャラウェイ
184	キャンディタフト
185	金風車(キク科)
186	きんぎょそう
187	クジャクソウ
188	グラジオラス
189	グラスベディア
190	クリスマスローズ
191	クレマチス
192	グロリオサ
193	けいとう
194	小菊
195	コスモス
196	コティナス
197	コデチャ
198	コデマリ
199	コワニー(ユリ科)
200	サイネリア
201	サクラ(切枝)
202	桜小町
203	サクラソウ
204	サリクトラム
205	サンダーソニア
206	シオン(キク科)
207	シクラメン
208	ジニア
209	シモツケ
210	シャクヤク
211	宿根デージー
212	ショウブ
213	シレネ
214	白妙菊
215	シンフォリカルフォス(切枝)
216	スイートピー
217	スイセン
218	スカビオサ
219	スキミア
220	スズメウリ
221	スズラン
222	スターチス
223	スタキス
224	ステイバ
225	ストック
226	ストロベリーコーン
227	ストロベリースティック
228	スナップ
229	スノーボール(切枝)
230	スピードリオン
231	スモークグラス
232	スモークツリー(切枝)
233	スモグソウ
234	セダム
235	セファロフォラ(加工用)
236	ゼラニウム
237	セロシオ
	セントーレアオリエンタリス

区	分
238	花き
239	千日紅
240	センニチソウ
241	ソリダコタラ
242	ソリダスター
243	ダイアンサス
244	大根草
245	ダスティーマラー
246	ダリア
247	チューリップ
248	チョコレートコスモス
249	ツルウメモドキ(切枝)
250	てまり草
251	テマリシモツケ
252	デルフィニウム
253	とうがらし(観賞用)
254	トリカブト
255	トリトマ
256	トルコギキョウ
257	トロリウス
258	ナス(観賞用)
259	ナスタチウム
260	ナデシコ
261	ナナカマド(切枝)
262	ナルコユリ
263	ニゲラ
264	ネマヘラソウ
265	ネムリヒメ(アヤメ科)
266	ネリネ
267	バイカウツギ(切枝)
268	ハス
269	とうきび(観賞用)
270	ハナナス
271	パニカム
272	パプチシア
273	ハボタン
274	バラ
275	バラ実もの(切枝)
276	パンジー
277	ビオラ
278	ビブルナム
279	ヒペリカム(切枝)
280	ヒマワリ
281	ヒメヒコダイ
282	ヒメヒマワリ
283	ジャクニチソウ
284	ピンビネラ
285	フェンネル
286	フサスグリ(切枝)
287	ふじなでしこ
288	フジバカマ
289	ブッチーニ(ウリ科)
290	ブブレウム
291	フリージア
292	ブルースター
293	ブルースプレー
294	ブルビネラ
295	フロックス
296	ペコニア
297	ペチュニア
298	ベニバナ(カルタムス)
299	ヘリクリサム
300	ヘレニューム
301	ペロニカ
302	ポインセチア
303	ホオズキ
304	ボタン
305	ホトトギス
306	マーガレット
307	マトリカリア
308	マンサク
309	ミズヒキ
310	ミナズキ(切枝)
311	ムギ(観賞用)
312	ムスカリ
313	紫式部(切枝)
314	メコノプシス
315	メロン(観賞用)
316	モナルダ
317	モルセラ
	ヤマゴボウ

別紙

江別市地域農業再生協議会

産地交付金対象とする作物の設定(全ての作物で種子含む)

区分	
318	花き
319	ヤナギ(切枝)
320	山ブドウ(ブドウ科)
321	ユーカリ
322	ユーストマ
323	ユーパトリウム
324	ユーホルビア
325	ユキヤナギ(バラ科)
326	ユリ
327	洋ラン類
328	ラークスパー
329	ライラック(切枝)
330	ラナンキュラス
331	ラベンダー
332	ラムズイヤー
333	リアトリス
334	リナリア
335	リオン
336	リンマキア
337	リンゴ(観賞用)(切枝)
338	リンドウ
339	ルドベキア
340	ルリタマアザミ
341	レースフラワー
342	ローズマリー
343	ロマネスコ
344	ワレモコウ
345	果樹(小果樹)
346	ブルーベリー
347	ハスカップ
348	もも
349	リンゴ
350	地力増進作物
351	えん麦
352	とうもろこし
353	ソルガム
354	イタリアンライグラス
355	ギニアグラス
356	スーダングラス
357	アカクローバー
358	アルサイククローバー
359	クリムソククローバー
360	ベッチ類
361	ベルコ
362	カラシナ類
363	レバナ
364	はぜりそう
365	マリーゴールド
366	ひまわり
367	キガラシ
368	ステビア
369	ナタネ
370	ハイオーツ
371	ライ麦
372	コスモス
373	花木
374	(観賞用)
375	樹木)
376	アジサイ
377	アナベル
378	アロニア
379	イチイ
380	ウメモドキ
381	エニシダ
382	オオデマリ
383	カイツカイブキ
384	かえで
385	カリンズ
386	きいちご(観賞用)
387	金宝樹
388	コティナス
389	サクラ
390	サツキ
391	サンゴミズキ
392	シキンカラマツ
393	シンフォリカルボス
394	スノーボール
395	ツゲ系
396	ツツジ
397	ナナカマド

区分	
394	花木
395	バラ実もの
396	ヒバ系
397	ヒベリカム
398	ブルーベリー(観賞用)
399	マンサク
400	ミナスキ
401	モミジ
402	ユーカリ
403	ライラック
404	アナベル
405	アロニア
406	ウメモドキ
407	オオデマリ
408	きいちご(観賞用)
409	サクラ
410	シンフォリカルボス
411	スノーボール
412	スモークツリー
413	ツルウメモドキ
414	ナナカマド
415	バラ実もの
416	ヒベリカム
417	フサスグリ
418	ミナスキ
419	紫式部
420	ヤナギ
421	ユキヤナギ
422	ライラック
423	ライラック
424	リンゴ
425	野菜苗
426	花壇苗
427	果樹苗
428	苗木
429	薬草
430	牧草
431	オーチャードグラス
432	チモシー
433	イタリアンライグラス
434	ベレニアルライグラス
435	トールフェスク
436	メドーフェクス
437	フェストロリウム
438	ケンタッキーブルーグラス
439	リードカナリーグラス
440	パヒアグラス
441	ギニアグラス
442	カラードギニアグラス
443	アラファルファ
444	オオクサキ
445	アカクローバ
446	シロクローバ
447	ローズグラス
448	バラグラス
449	パンゴラグラス
450	ネビアグラス
451	ハイブリッドライグラス
452	スムーズプロムグラス
453	アルサイククローバ
454	ガレガ
455	セタリア
456	デントコーン
457	その他
458	青刈り麦
459	青刈りとうもろこし
460	青刈りソルガム
461	テオシント
462	スーダングラス
463	青刈り大豆
464	子実用えん麦
465	子実用とうもろこし
466	青刈りひえ
467	しこくひえ
468	飼料用かぶ
469	飼料用ビート
470	飼料用しば
471	加工用米
472	加工用として作付・生産・販売を行うもの
	新規需要米
	米粉用として作付・生産・販売を行うもの
	輸出用として作付・生産・販売を行うもの
	WCS用稲
	飼料用として作付・生産・販売を行うもの